

令和5年度 軽井沢町有害鳥獣被害予防対策協議会



軽井沢町ツキノワグマ対策事業

特定非営利活動法人 ピッコオ

令和5年 全国の状況

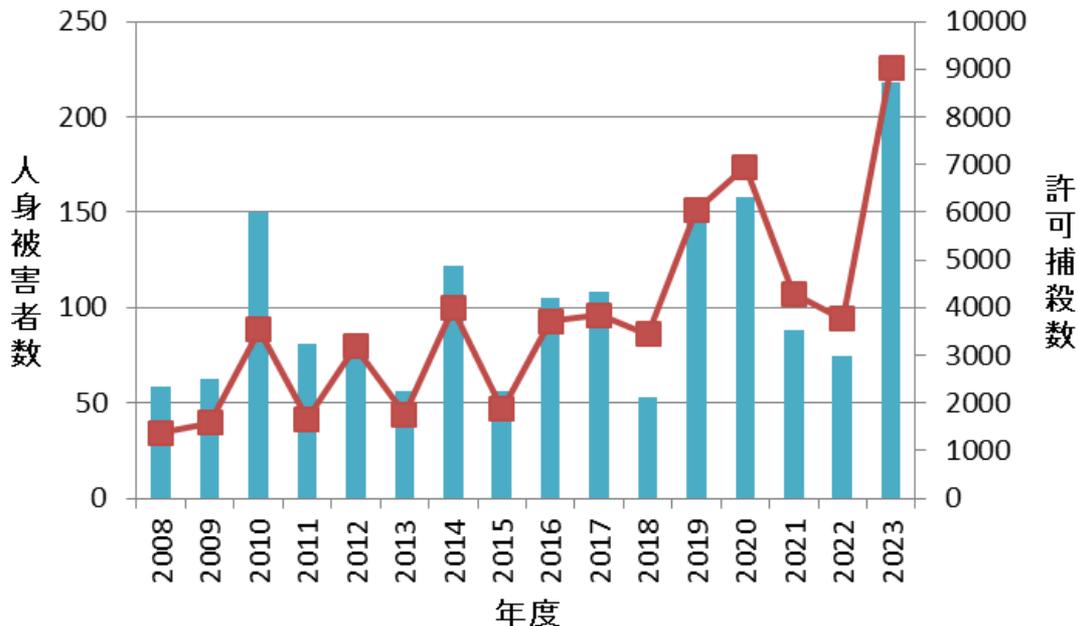
(2024年2月末 現在)

【右図】

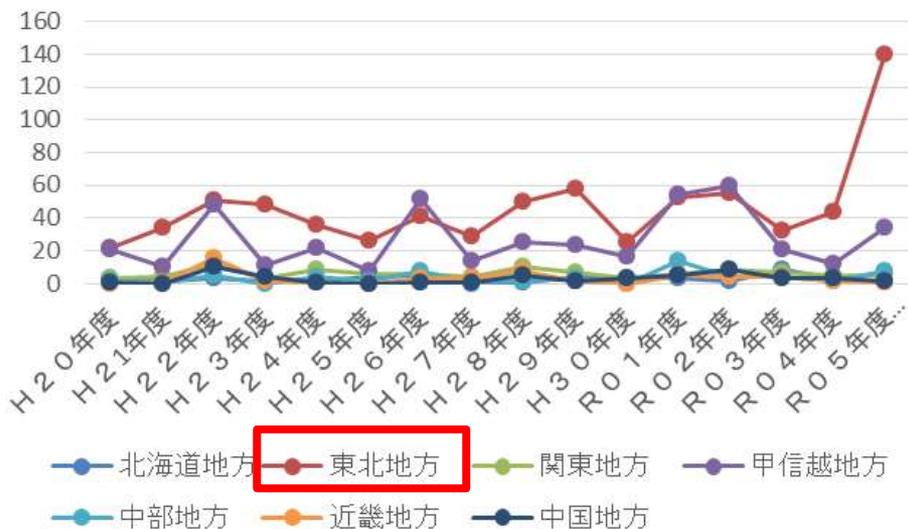
- ・ 被害人数： 218人(うち死亡6人) :折線(赤)
- ・ 捕殺頭数： 9028頭 :棒グラフ(青)
- ・ クマの大量出没は今に始まった話ではない。
- ・ 結局、事故と駆除を繰り返している。

【下図】

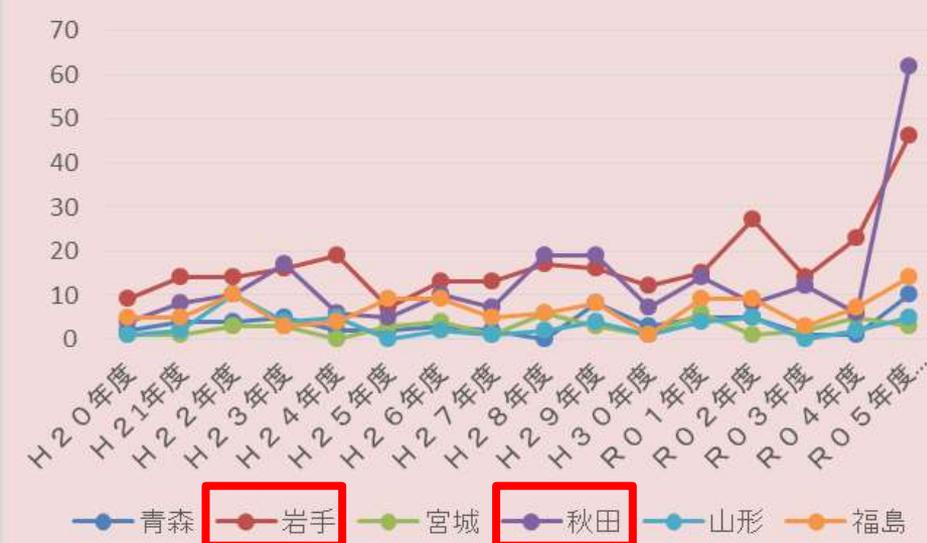
- ・ 人身被害は東北地方、主に秋田、岩手で突出。



地域別被害件数



県別件数(東北地方)



環境省による統計資料から作成。

クマ類の分布域の拡大

人による環境の改変と暮らし方の変化

- ・ 奥山での拡大造林
- ・ 里地里山の未利用（野生動物の生息適地化）
- ・ 捕獲圧の低下（狩猟規制と狩猟者減少）
- ・ 温暖化による異常気象（餌資源への悪影響）



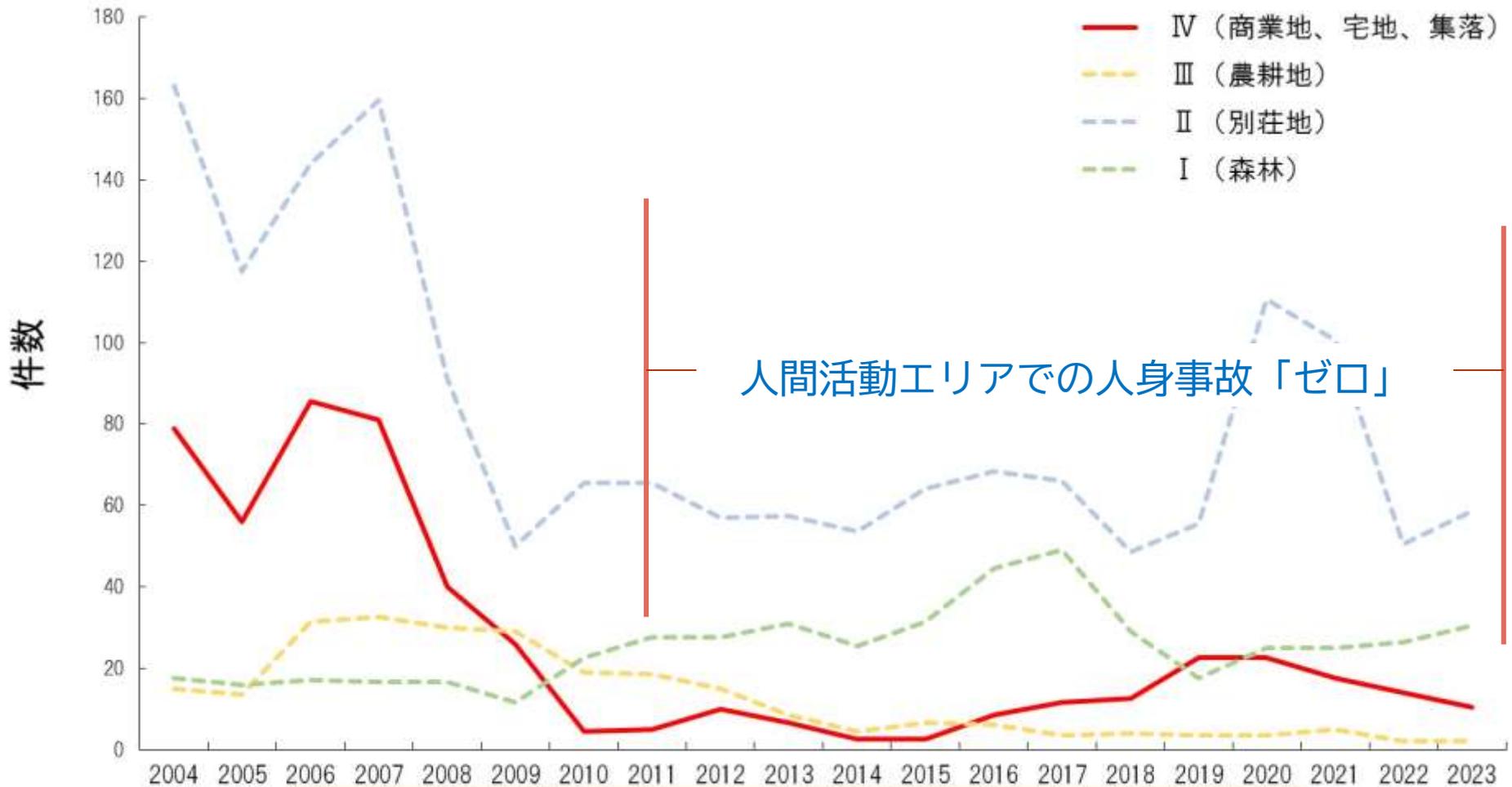
クマ類の生息分布図

- ：環境省（2004）による分布確認地点
- ：日本クマネットワーク（2014）による分布拡大エリア

「ツキノワグマおよびヒグマの分布域拡縮の現状把握と軋轢抑止および危機個体群回復のための支援事業」報告書（日本クマネットワーク, 2014）を改変

管理区別のクマ情報推移

(2年移動平均法)



- 過去13年間、人間活動エリアでの人身事故は「ゼロ」を継続
- 平均の駆除頭数：1.3頭/年

奥山はカラマツ林が多い



森林エリア

別荘エリア

鳥獣保護区
環境省

WILDLIFE PROTECTION AREA
MINISTRY OF THE ENVIRONMENT

別荘地や宅地には広葉樹が多い



市街地エリア







軽井沢町

国際親善文化観光都市
(保健休養地)

町の財産・資源 = “豊かな自然”

- (1) 事故は観光地としての損失になる。
- (2) 駆除をし続けることのイメージの悪さ。

世界に誇れる人と自然、クマの共生方法を模索



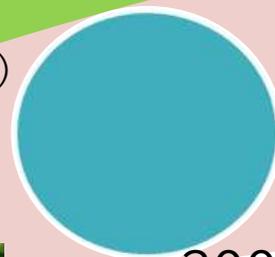
個体管理（問題個体の特定と対応）

短期的・中期的な対応



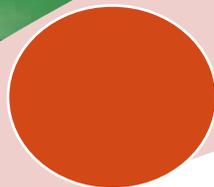
誘引物管理
（クマ対策ゴミ箱、電気柵）

維持管理期



収束期

2007～2010年



対策導入期

2002～2006年



ベアドッグ活動
（追い払い、探索）

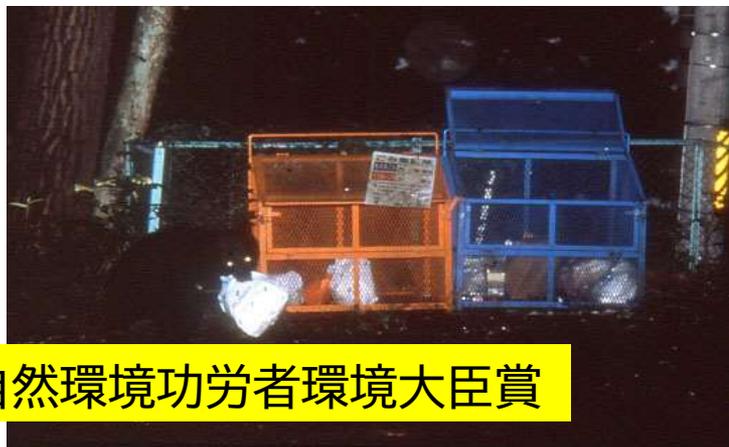


出没多発期

1990年代中頃



- ・ゾーニング管理
- ・軌轢レベル判定基準



2011年 自然環境功労者環境大臣賞



行動監視
の強化
（GPS導入）



教育普及
の強化

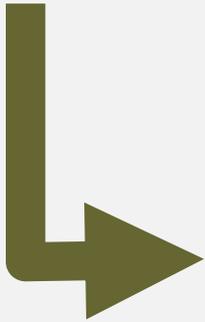
2009年 自然環境功労者環境大臣賞

どんぐり運動の会

(どんぐり返し)



どんぐりポスト



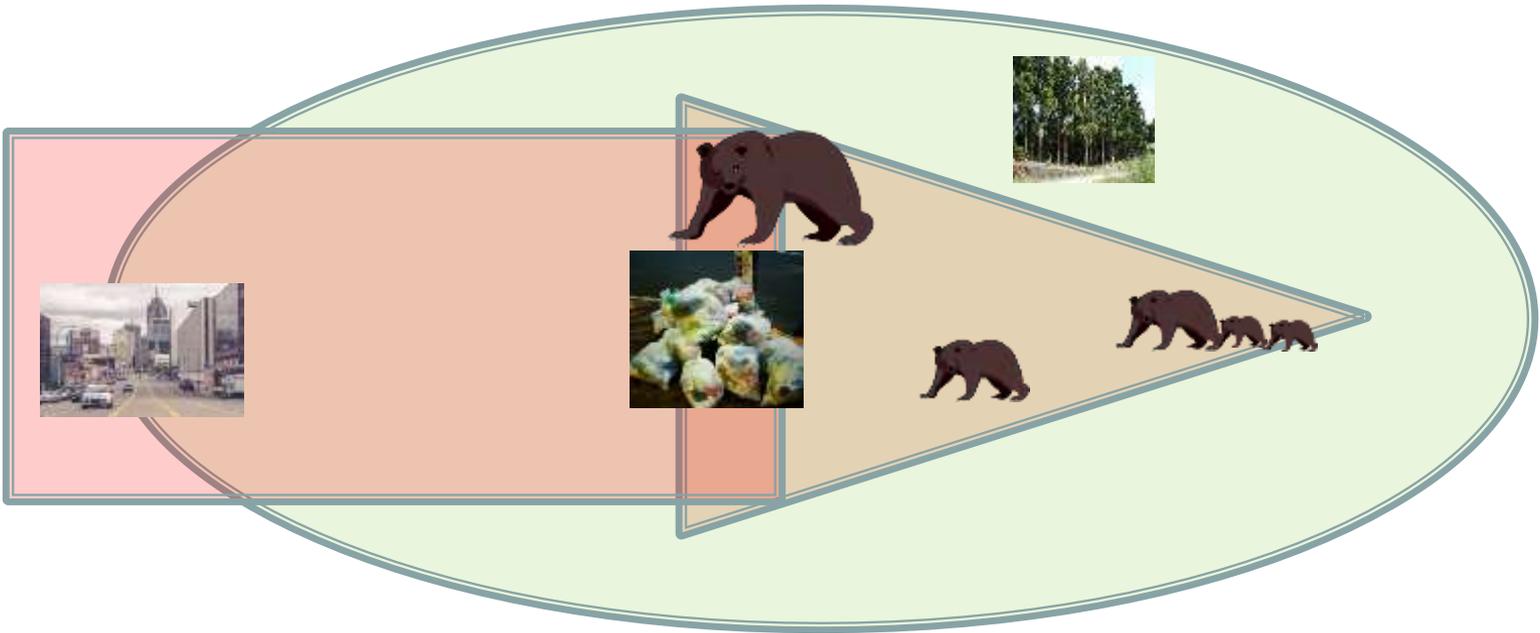
長期的な対応

種まき、育苗

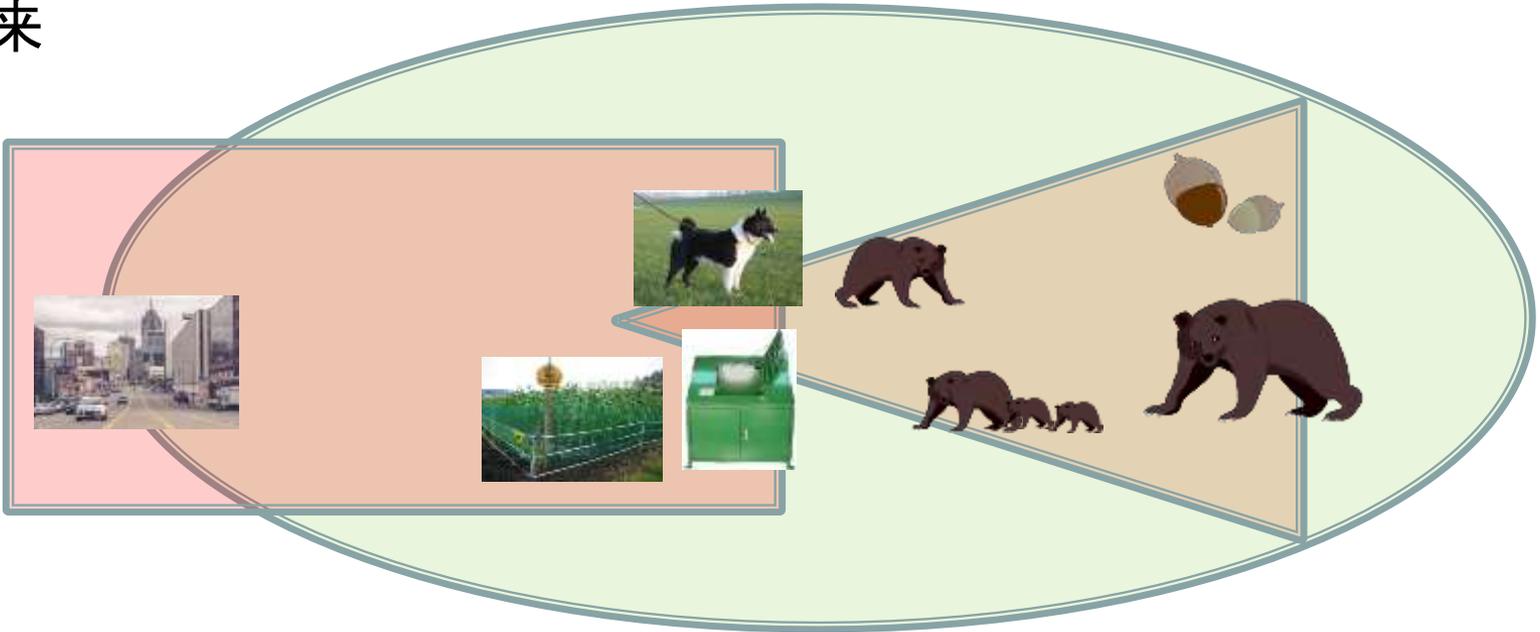


植樹

~20年前



現在~将来



未標識グマへの対応



クマに関する知識の普及



パトロール
(通学路、キャンプ場、自然公園など)



クマ情報の発信(看板、Web、メール)



地元小学校のマラソン大会の護衛

クマ通報に即応できる体制（24時間）



令和5年度 クマ対策事業 主な実績 (2023年12月31日現在)

● 通報対応

- ・ 全対応件数: 163 件
クマ、カモシカ、シカ、イノシシ、中型動物、犬、カラマツ、雪、人など

● 捕獲

- ・ 罠設置数: 40 カ所
- ・ 捕獲頭数: 29 頭 (許可18、錯誤11)、駆除以外はすべて学習放獣
- ・ 駆除頭数: 1 頭 (2歳♂、浅間台地区)

● 夜間監視、追い払い

- ・ 監視期間: 6月1日～11月30日の毎晩23時～翌8時
- ・ 監視個体: 33～38 頭
- ・ 位置測位回数: 1788 回
- ・ 追い払い頭数: 19 頭
- ・ 追い払い・牽制回数: 265 回

● 堅果類の豊凶調査、食性調査

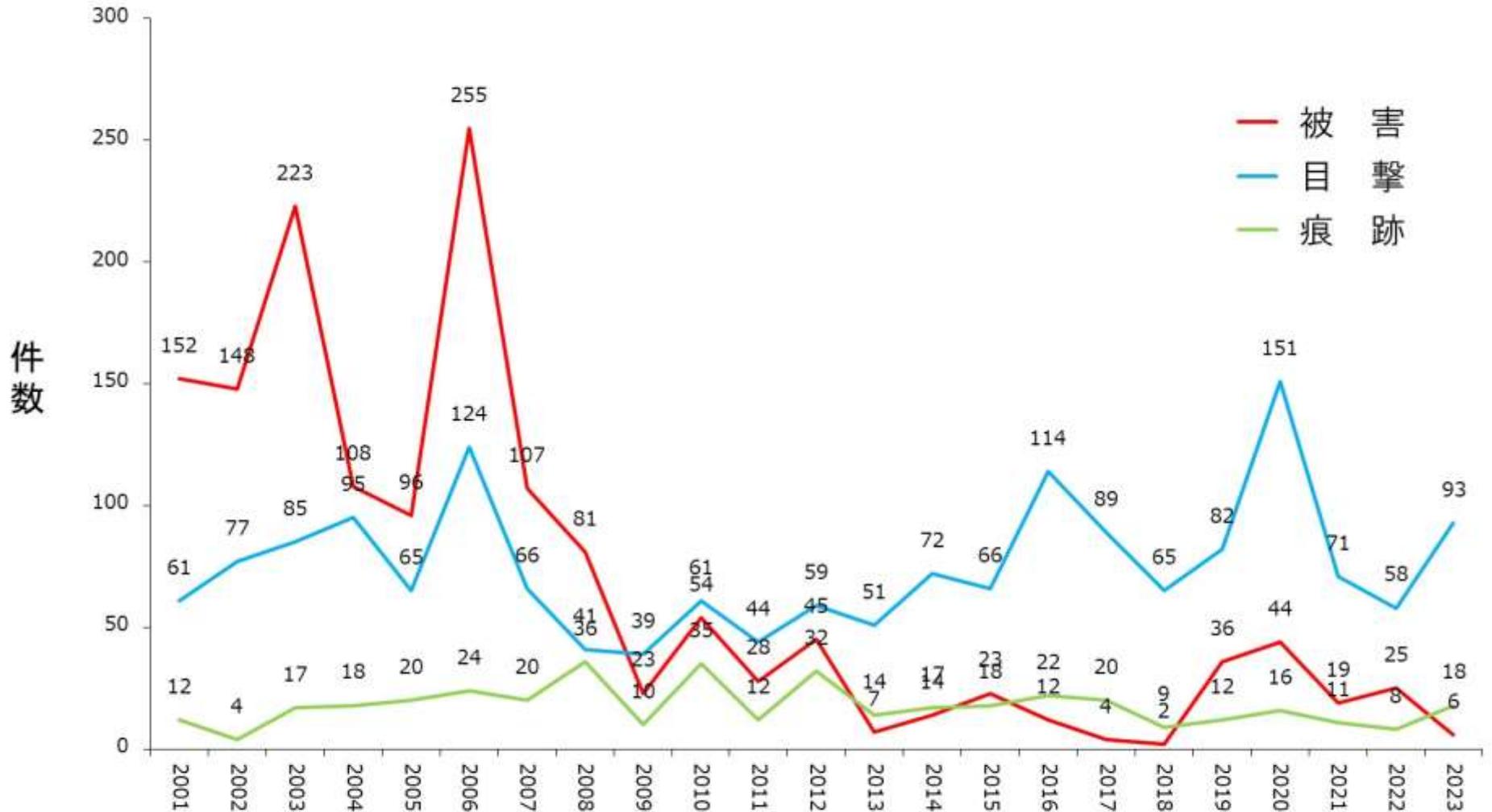
- ・ 調査箇所、本数: 54 箇所、774 本
- ・ 糞分析件数: 104 個

● 普及啓発、情報発信

- ・ すべての小学校、学年ごと、森の幼稚園で特別講義を開講: 27クラス
- ・ 携帯メール、Webからの発信のための情報収集
- ・ クマ情報看板: 64か所、クマ季節看板 : 40か所

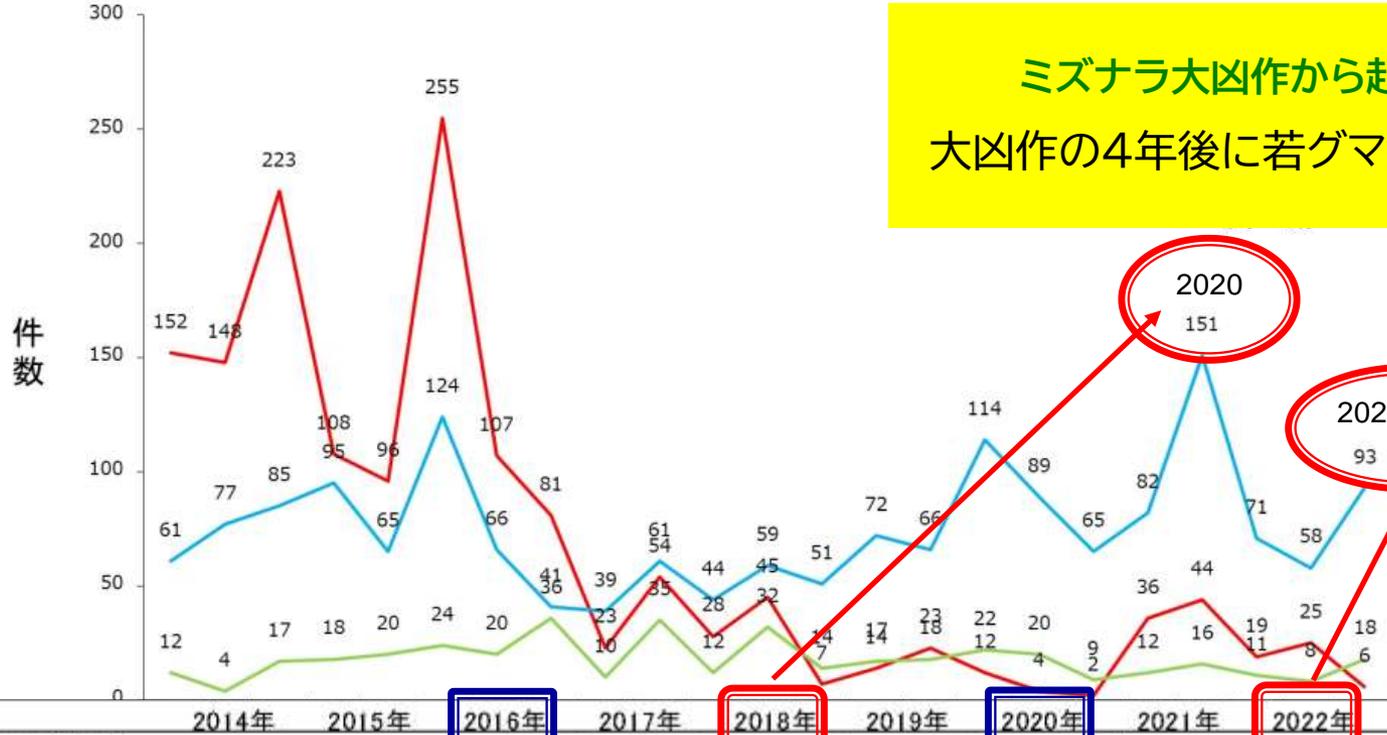


軽井沢におけるクマ情報の推移



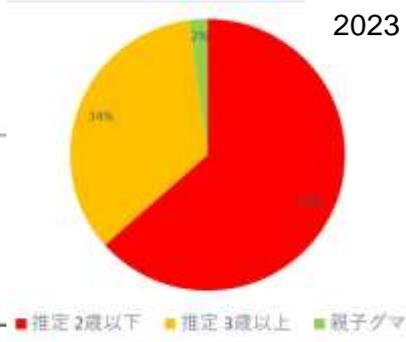
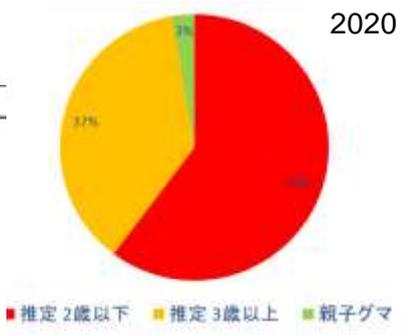
国有林内で人身事故（1件）、山菜とり最中、鳴り物携行なし（2024年5月6日）

ミズナラ大凶作から起こる出産パルス 大凶作の4年後に若グマ大出没が起こる！？



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
ミズナラ	軽井沢	△	→	△	△	△	△	△	△
	軽井沢南部	△	↗	○	△	△	△	△	△
	浅間山	○	↘	△	△	△	△	△	△
	鼻曲山	△	→	△	△	△	△	△	△
	浅間隠山	△	→	△	△	△	△	△	△
	霧積	△	↗	○	△	△	△	△	△
碓氷	△	↗	○	△	△	△	△	△	
コナラ	軽井沢	△	↗	○	→	○	△	△	△
	軽井沢南部	△	→	△	↗	○	→	○	→
	浅間山	○	→	○	→	○	→	○	→
	鼻曲山	○	→	○	→	○	→	○	→
	浅間隠山	○	↘	△	↗	○	→	○	→
	碓氷	△	↗	○	→	○	→	△	→
クリ	軽井沢	○	→	○	→	○	→	△	→
	軽井沢南部	△	→	△	↗	○	↘	△	→
	浅間山	○	→	○	→	○	→	○	→
	鼻曲山	○	↘	△	→	△	→	△	→
	霧積	△	→	△	↗	○	→	△	→
	碓氷	△	↗	○	→	○	→	△	→

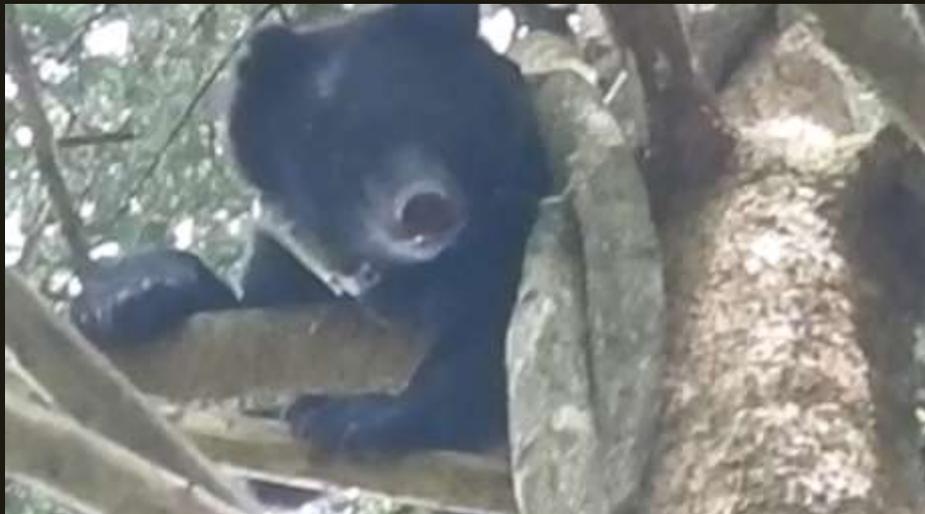
◎: 豊作 ○: 並作 △: 凶作 ×: 不作



新世代グマの教育



10時間樹上拘束



教育後

海外からの注目

令和5年度 海外インターン実績

期間：2023年5～10月

人数：13名

国籍：イギリス、オランダ、ドイツ、オーストリア、オーストラリアなど

大学：オックスフォード大、ワーヘニンゲン大、クイーンズランド大、

シドニー大、ハワイ大など

JapanConnect

Dogs, antennas and honey for Japan's big bear problem

2023年12月24日 19:00 発信地：その他



This handout photo taken on November 14, 2019 and released by the nonprofit organisation Picchio Wildlife Research Center shows a captured Asian black bear being inspected near the resort town of Karuizawa, Nagano prefecture. (Photo by Handout / Picchio Wildlife Research Center / AFP)

令和5年度

国内・海外メディアの実績

- AFP通信
- Asahi digital News
- NHK クローズアップ現代
- 朝日新聞「天声人語」 (11/2)
- TBS ニュース23
- NHK おはよう日本

ほか、ラジオ、テレビなど多数



～豊かな自然と共生する～

人と自然と文化を築く環境先進都市
“軽井沢”

誰もが癒される自然と共生できる
環境を守り続けていくことが、
町の財産を育み、未来へつなぐ。

第6次 軽井沢町長期振興計画

～豊かな自然と共生する～
人と自然と文化で築く環境先進都市 軽井沢



軽井沢町